

循環の心と ITの技

2023年8月27日

1班：大田、川野、原、安井、分部

目次

1. 背景
2. 提案コンセプト
3. 年代ごとの提案
 - 3-1. 2023年～2030年
 - 3-2. 2030年～2040年
 - 3-3. 2040年～
4. まとめ



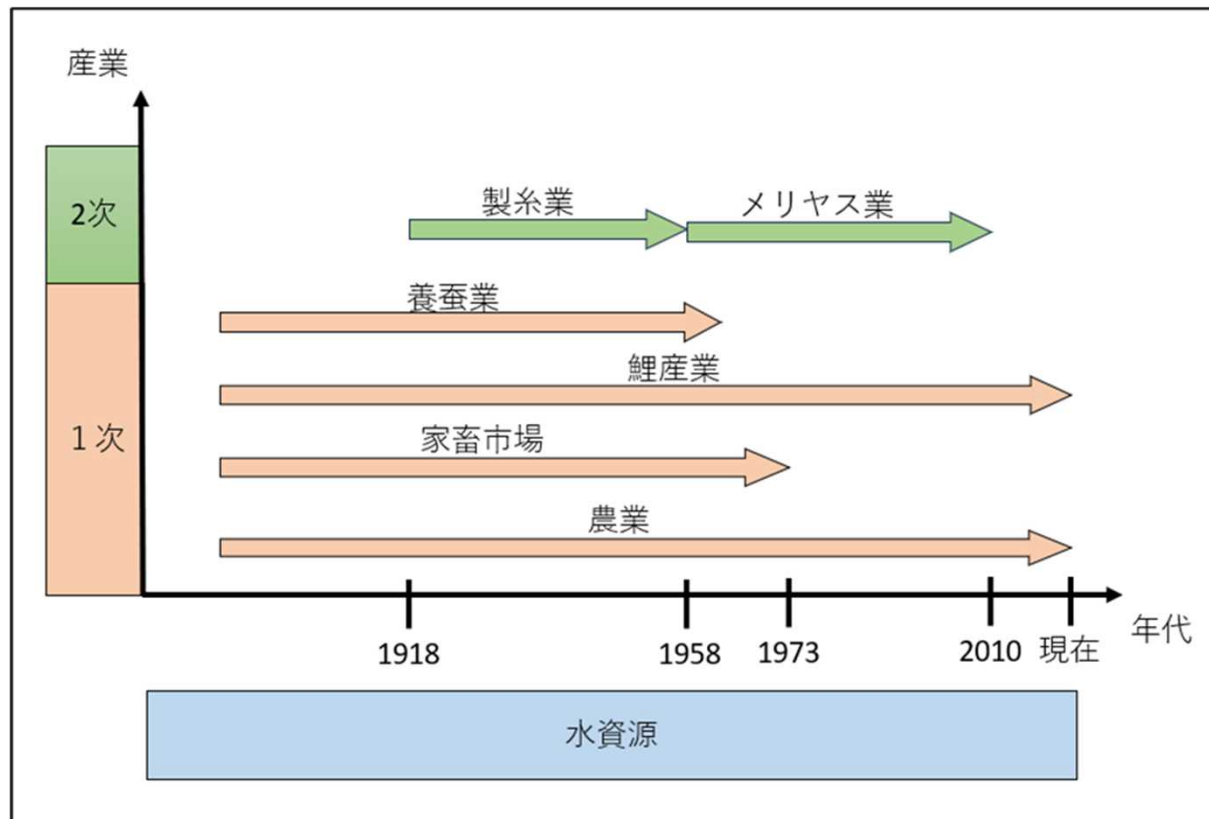
1. 背景～養父市場の発展と衰退～

過去

円山川の豊富な“水資源”を基盤に、製糸・養蚕業、家畜市場を中心に産業が発展

現在

製糸業の衰退、家畜市場の移転など時代の流れにより産業が衰退



1. 背景～養父市場の課題～

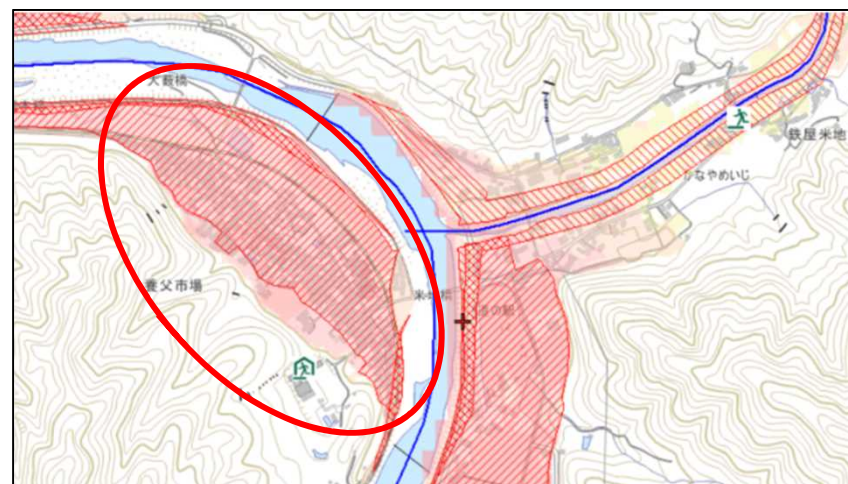
生活特性

- 少子高齢化社会
⇒人口・世帯数ともに減少傾向
- コミュニティとしての魅力不足
⇒地域外のつながりの希薄化



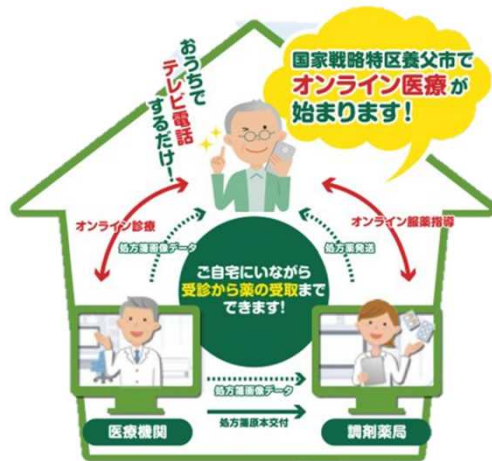
立地特性

- 洪水、浸水、土砂による災害
- 病院から遠い
⇒災害リスクが高い地域



1. 背景～養父市場のポテンシャル～

国家戦略特区に指定
⇒規制緩和に積極的

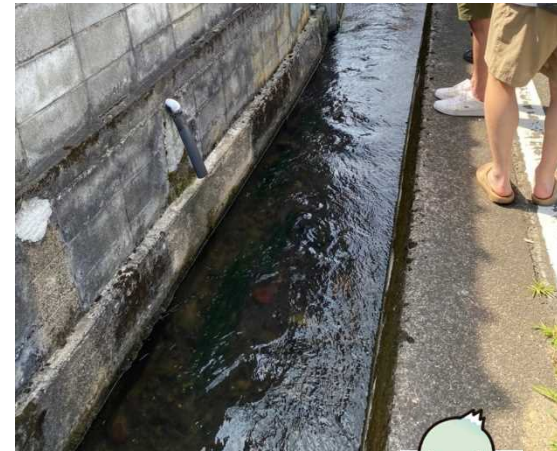


子育て支援制度の充実

S U P P O R T
子育て
支援制度

切れ目のない
サポートで
子育て世帯を
応援します。

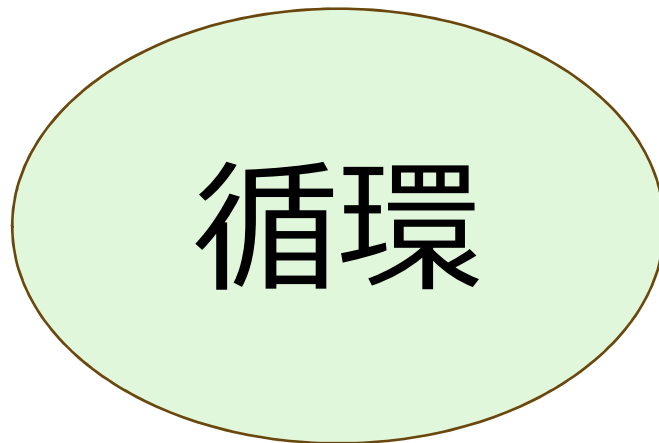
自然の豊かさ



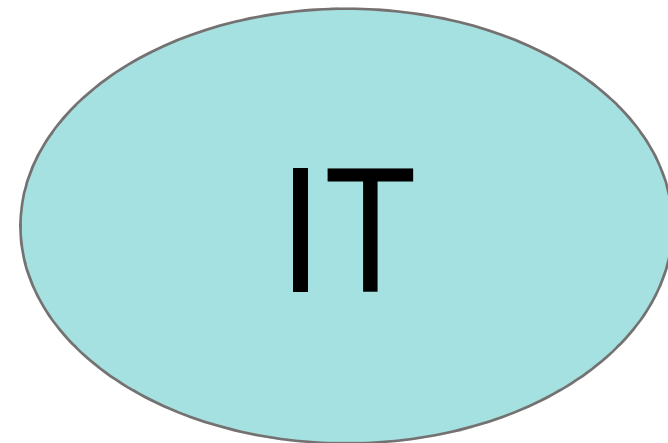
2. 提案コンセプト

『循環の心とITの技』

ガンゼ・養蚕・牛・鯉の循環が途絶えることで養父市場は衰退



新たな人材・産業の循環



今後活用すべき技術



2. 提案コンセプト

『循環の心とITの技』

2023年

2030年

2040年

循環への種まき

移住・定住促進

新領域への拡大



3-1. 2023～2030年のテーマ

循環への種まき

若者の移住・定住が目的ではなく、
「主体的に“養父市”に関わりたいと思う若者を増やす」
ことが必須



まずは、多くの人々に
養父市場で「記憶に残る体験」を！



サテライトオフィス×宿泊施設



IT企業を中心にワーケーションや合宿で活用できる施設を設置

3-1. ゾーニング (2023~2030年)



A : 6次産業化

→ コミュニティ農園

B : 農産物直売所

C : 宿泊施設×サテライトオフィス
デジタル時代の林間学校

D : キャンプ場などの暫定利用



3-1. 6次産業の基盤づくり

- コミュニティ農園や周辺施設を活用する農業法人の設立
- ▶ アクティビティ型の6次産業



コミュニティ農園の運営
▶ 地方の生活に触れるアクティビティ



宿泊施設にシェアキッチン
▶ 地域食材との接点

3-1. デジタル時代の林間学校

- 小学生の林間学校の行き先として養父市場を選んでもらい、自然とITに触れる体験をしてもらう。



ドローン体験



農業ロボットの操縦体験

3-1. モビリティの整備

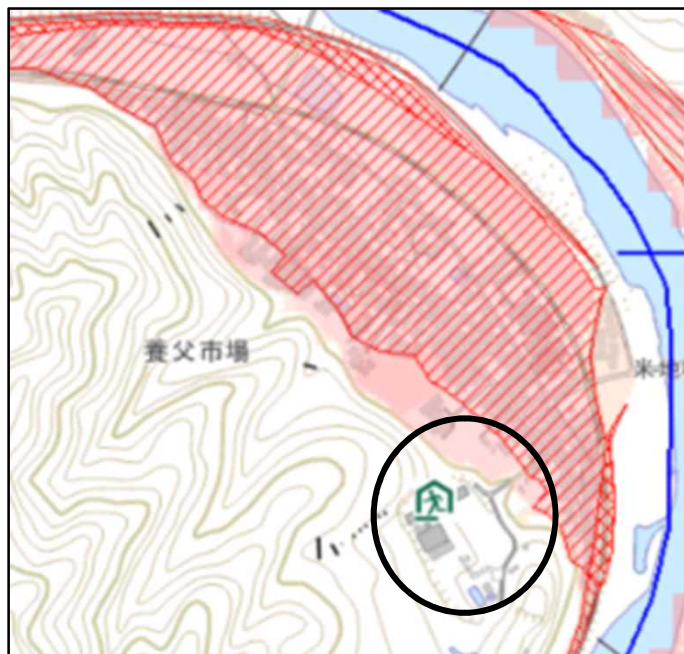


- 地域住民や訪問者が、周辺地域を移動する手段として、電気自動車を活用したYABUKURUの導入

災害時には非常用電源として活用



3-1. 災害リスクへの対応



- ・ 養父小学校の災害リスクが低い
⇒ **養父市場の防災拠点**



- ・ 暫定利用のキャンプ場で
『コンテナホテル』導入
⇒ 災害時にコンテナを小学校に
移動させて、避難所で活用

3-2. 2030～2040年のテーマ

働きたい、住みたい、養父市へ

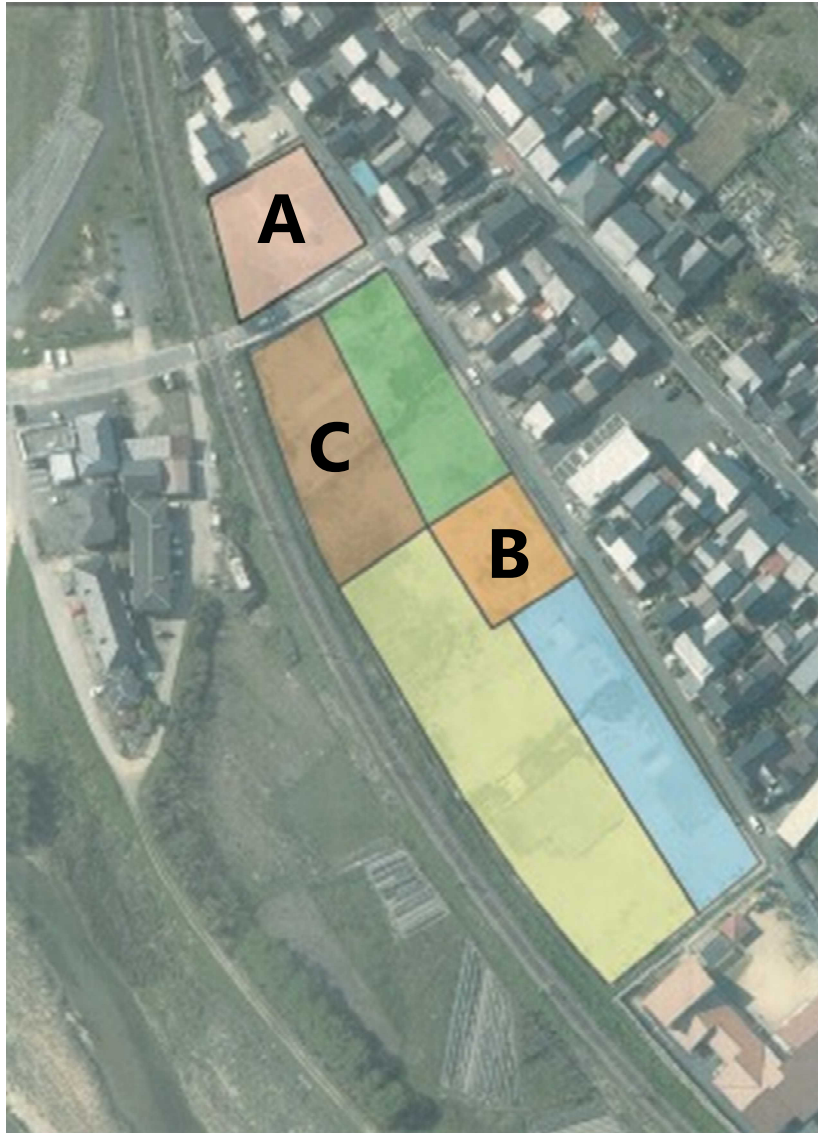
『魅力醸成×発信』によって、
養父市への再訪や移住を検討する人々が増加



移住・定住に向けた新たな提案



3-2. ゾーニング（2030～2040年）



- A : 6次産業の製造工場
新たな特産品の開発・製造
- B : 農業レストラン
+ 農産物直売所
養父市の特産物の魅力発信
- C : ITの専門学校
次世代のIT人材の育成

3-2. 民間IT企業の誘致

養父市に移転するIT企業に対して、マイナンバー情報等のデータを利用できるような仕組み

▶ 養父市と親和性が高い領域のIT企業の誘致を促進

● ユースケース事例

高齢者向けのヘルスケア

マイナンバーの情報を活用した
健康管理・医療システム



マイナンバーを利活用した
ビジネス展開が可能

フードテック企業

地域住民の
食生活や移動情報の収集



サービス開発の仮説検証
の加速化



3-2. IT専門学校の設立

● 林間学校による認知度向上・IT企業の集積(2030年まで)

地域密着型のIT専門学校

地域のIT企業と連携して
地域課題解決プロジェクトを授業の一環として実施



「学習×地域活動」により
若年層と地域への関わりを生み出し、愛着を育む

養父に愛着を持つIT人材の育成
定住・Uターンによる循環型社会の形成



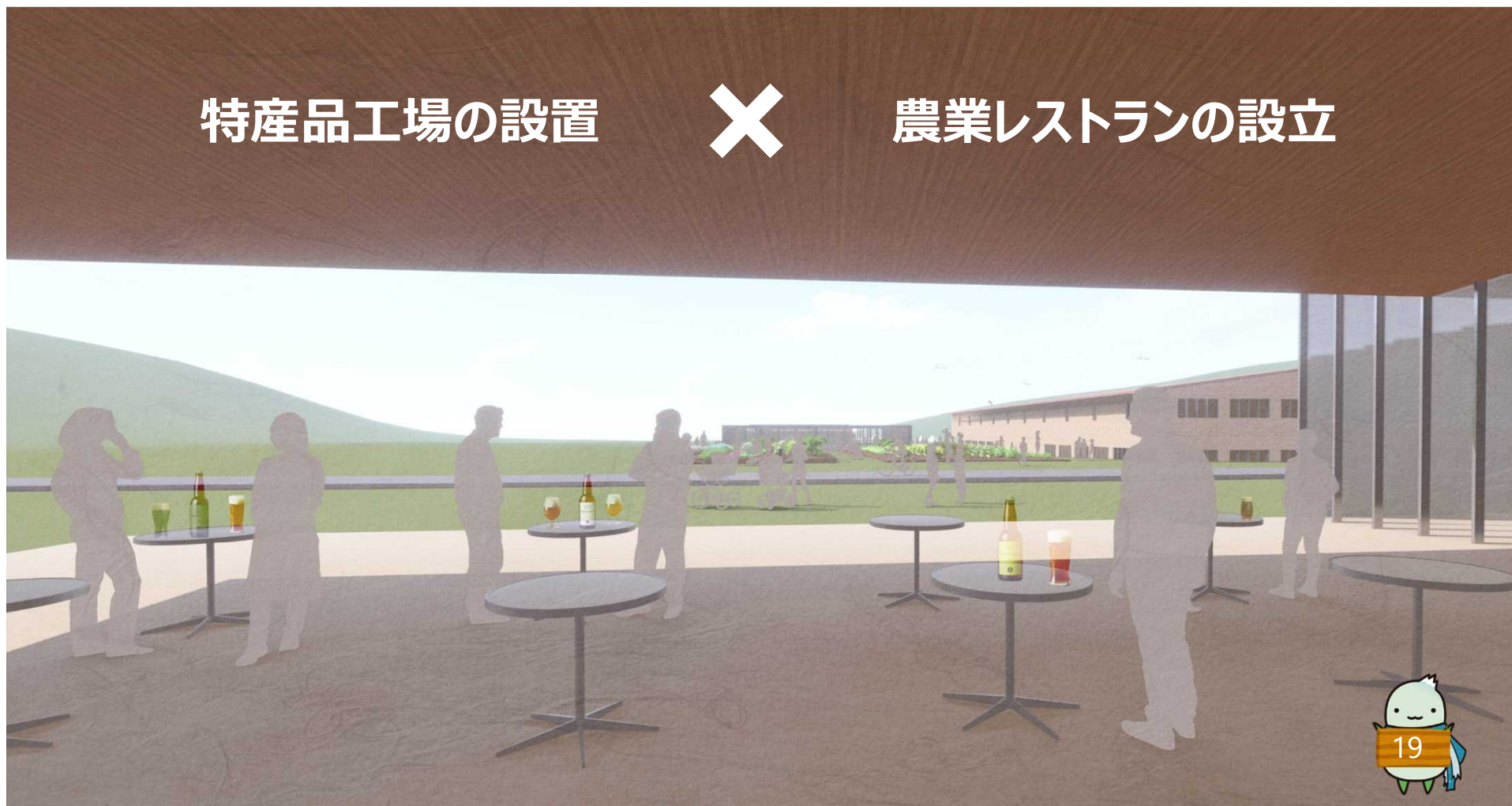
3-2. 6次産業の拡大

農業+2次・3次産業の従事 “稼げる農業”の実現、就農希望者の移住・定住の促進

特産品工場の設置



農業レストランの設立



3-2. 子育て支援

体験型イベントの実施

場所

グンゼ跡地、養父の大自然

目的

・子供たちの好奇心や探究心にこたえる体験を通して、主体性、協調性、社会性等を育み、人としての成長を果たす。

イベント内容

- ・キャンプやハイキングなどの野外活動
- ・IT技術の体験
- ・地域課題の解決に向けた活動

地域の駆け込み寺

場所

コミュニティセンターやぶ

目的

・親子揃って困ったことをなんでも身近に相談できる場所

施設の役割

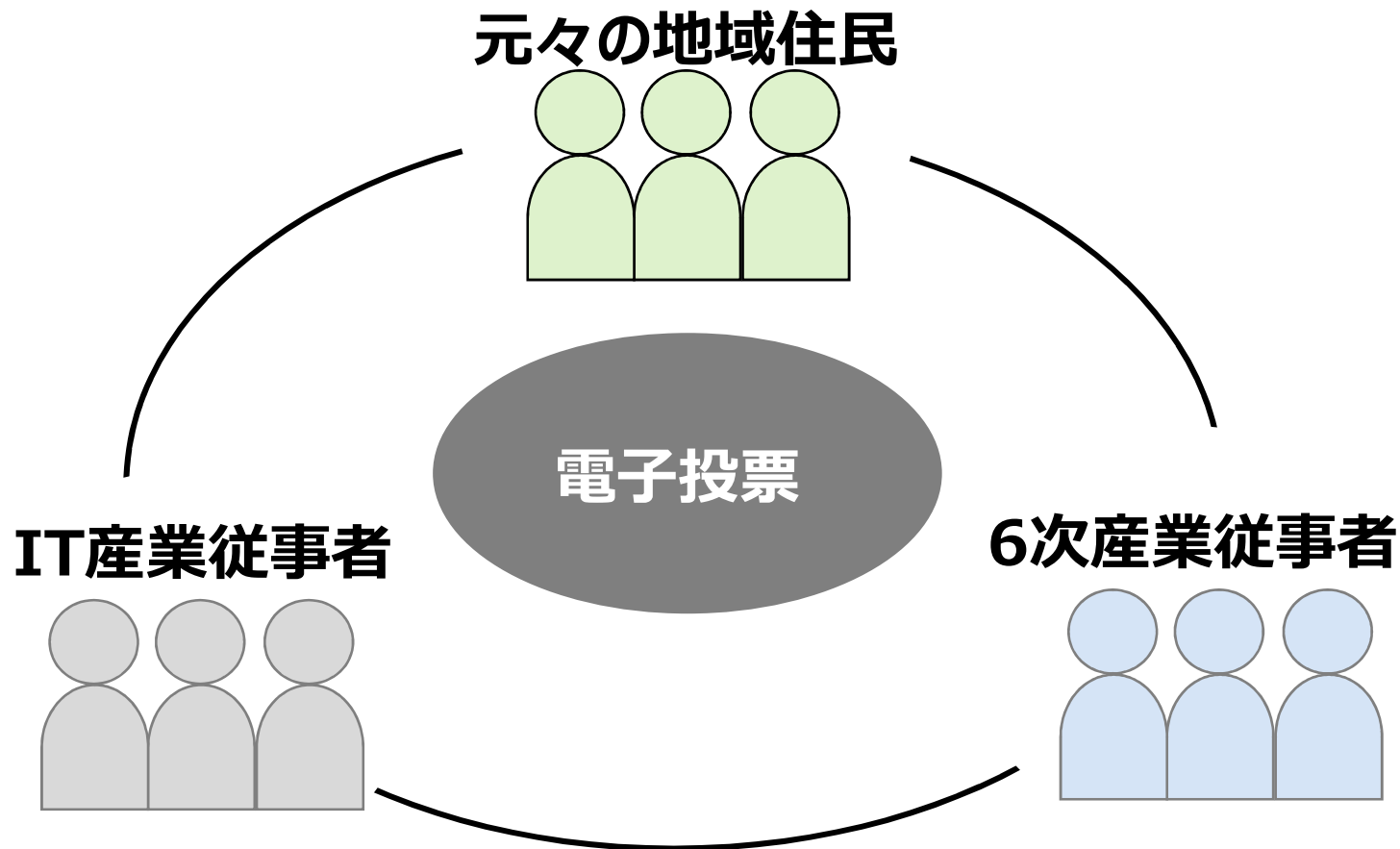
- ・子供達の勉強を教える寺子屋的要素
- ・地元のママさんによる相談窓口
- ・YBファブと連携した地域の交流拠点



3-2. 地方型のエリアマネジメント

養父市場内の電子投票を実施

▶ 暫定利用を利用したイベント等の取組みに多様な市民が主体的に参画



3-3. 2040年以降のテーマ

新領域への拡大

世代交代をしていかなければ、
かつての養父市場のように循環が止まってしまう



養父市に関わってきた次の世代が養父市場の
産業や人材を作り、**持続的な循環に繋げていく**



3-3. 新しい産業の創出

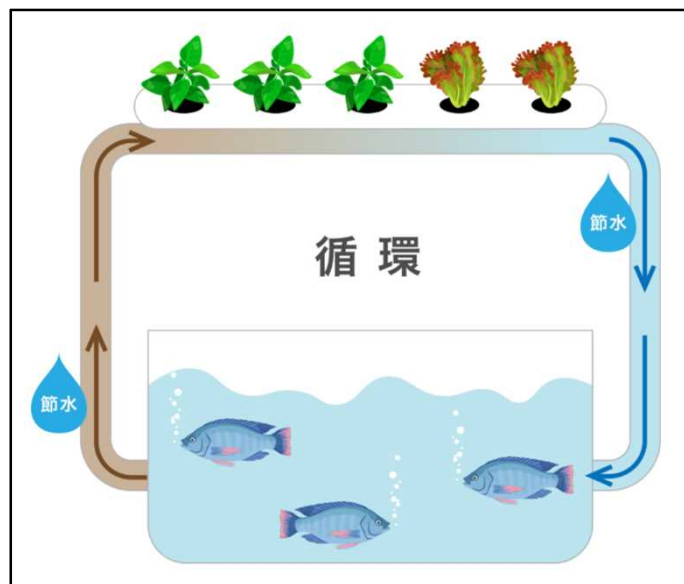
2040年以降に養父市を**新たに担う若者ら中心に協議やプロポーザルに参加**

▶今後の養父市場の活性化を図る新しい産業が生まれる

新産業の提案例 アクアポニックス >>> 養父の水の活用

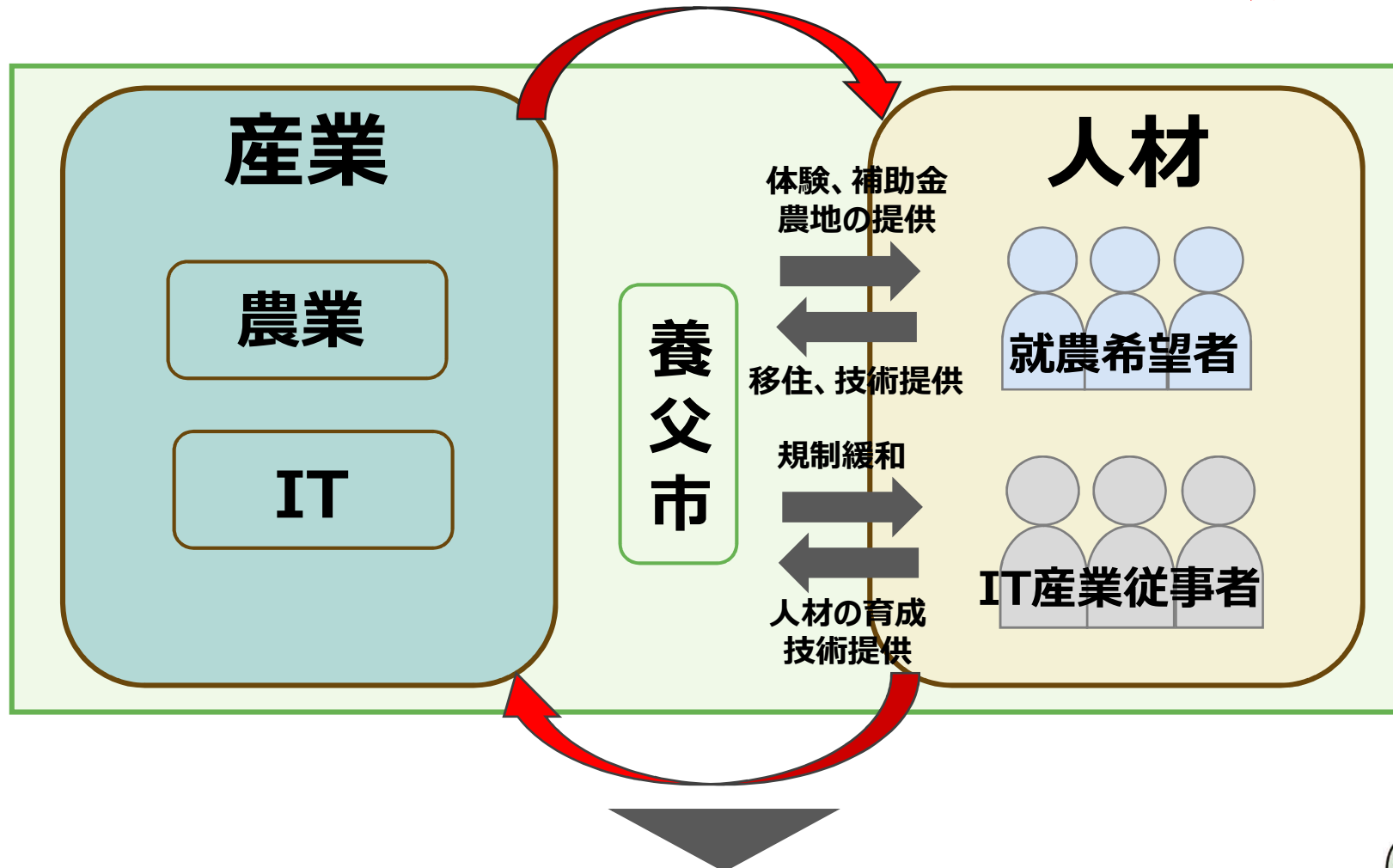
魚と植物を同じシステムで育てる循環型農業

水を一切捨てない、換えない、農薬と化学肥料を使わない、水で行う有機栽培



4. まとめ

循環型社会の実現により持続可能なまちづくり



特産物、人材、技術を世界へ

ご清聴ありがとうございました！

